

群馬の畜産 みんなの情報室

第352号

発行日
令和4年3月22日

発行:公益社団法人 群馬県畜産協会
〒379-2147 前橋市亀里町1310 群馬県JAビル 3階/TEL:027-220-2371 FAX:027-220-2372
ホームページ:https://chikusankyokai.or.jp

令和4年度事業計画及び収支予算について

去る3月10日、群馬県 JA ビルにおきまして、第47回理事会が開催され、令和4年度の事業計画及び収支予算が承認されました。



【令和4年度 事業計画 基本方針】

本会では、今後も、アフターコロナを見据え、畜産物の価格安定、家畜衛生、経営支援、家畜改良、担い手の確保育成の5つの機能について、畜産の専門機関として、畜種ごとに有機的な情報活用を図り、高い次元で対応する事務局体制を構築し、法人経営、特色のある経営など、多様化する畜産経営に合った専門性の高いサービスを提供できる人材の育成を図ります。また、農場HACCP認証制度を通じた飼養衛生管理の向上を推進するとともに、持続可能な農場経営への取り組みが重要となる食品安全を始め、家畜の健康（家畜衛生）や快適な飼育環境への配慮（アニマルウェルフェア）、労働者の安全対策、環境保全などを評価認証する畜産GAP制度の導入を積極的に支援し、本県の畜産経営の安定向上と安全で良質な畜産物の生産に貢献し、国民生活に不可欠な食料の安定的な供給について、引き続き寄与して参ります。

また、国際化に対応する畜産経営を確立するため、国、県、中央団体等の実施する経営支援、価格安定対策等の補助事業、助成事業、受託事業等を積極的に活用するとともに、各種ニーズに応えるための事業を自主事業として実施し、県内畜産農家を支援して参ります。

さらに、畜産物の安全安心を確保するため、家畜や農場の衛生対策、及び家畜の生産性向上対策、畜産への理解醸成など幅広い事業に取り組むとともに、これまで継続してきた事務の合理化や経費抑制についても引き続き実施して参ります。

目次

令和4年度事業計画及び収支予算について	1	経営セミナー(第三者経営継承)の開催について	8
第12回全国和牛能力共進会第5回出品対策協議会を開催しました	4	県畜産物が当たるキャンペーン実施しました	8
第12回全国和牛能力共進会に係る出品候補牛集畜研修会を開催	5	本県生産者団体の紹介(群馬県乳牛改良協会)	9
優良繁殖雌牛地域内保留推進事業(令和4年度新規事業)について	6	本会職員のご紹介	9
肉用牛合同研修会の実施について	6	価格安定制度の発動状況及び市況	10
農場 HACCP 研修会の開催について	7	令和元年度海外畜産事情研修(EU3か国)に参加して⑨	11
勢多農林高等学校養鶏部が農場 HACCP 認証取得しました	7	みんなで行こう! ケイバ! 南関東4競馬場開催日程	12

【公益事業1】畜産経営の安定向上を支援し安全で良質な畜産物の生産を促進する事業**（1）畜産経営の安定を支援する事業****ア 肉用子牛の生産の安定に関する支援**

肉用牛肥育経営への子牛の安定供給を進め、国産牛肉の安定した生産が継続して行われることを目的に、当協会と補給金の交付契約を締結した肉用牛繁殖経営者に対し、子牛の販売価格が国の定める基準価格を下回った場合に、その差額を補給金として交付します。

〔実施予定事業数：1事業〕

イ 肉用牛肥育経営の安定に関する支援

肉用牛肥育経営の安定を図ることにより、国産牛肉の安定した生産が継続して行われることを目的に、肥育牛補てん金交付契約を締結した登録生産者に対し、独立行政法人農畜産業振興機構の調査により算出される肥育牛1頭当たりの標準的販売価格が、同じく算出される標準的生産費を下回った場合に、その差額の9割を交付金として交付します。また同制度等の事務推進を行います。

〔実施予定事業数：2事業〕

ウ 養豚経営の安定に関する支援

養豚経営の安定を図ることにより、国産豚肉の安定した生産が継続して行われることを目的に、独立行政法人農畜産業振興機構が実施する肉豚経営安定交付金制度の登録生産者からの委託により、同制度等の事務推進を行います。

〔実施予定事業数：1事業〕

（2）畜産経営の向上を支援する事業**ア 地域の畜産経営への支援指導**

畜産経営の高度化に必要な情報の提供や経営分析による指導、個人・法人等の多様なニーズに対応した経営指導を行います。

また、既往負債の長期・低利な資金への借り換え計画作成とその計画達成のための指導、資金借入を希望する畜産経営体の経営ビジョンや経営計画作成、畜産女性経営者の育成、収益性・生産性を向上、労働時間の短縮を図るための機械導入等を支援するとともに、生産物の品質向上、生産情報管理・分析について指導します。

さらに、畜産経営者の経営実績の収集、経営指導活動の成果を把握するための調査、優れた畜産経営者や畜産振興に貢献している団体等の調査を行い、その結果の周知・普及を図ります。

〔実施予定事業数：18事業〕

イ 畜産経営の人材確保と労力負担の軽減に関する支援

畜産経営に係る人材確保と労力負担の軽減を図るため、獣医学を専攻する大学生に対し、卒業後、群馬県内で産業動物獣医師として従事することを条件に修学のための資金を給付するとともに、県内の産業動物獣医師採用情報を収集・提供し、産業動物獣医師への就業と人材確保を支援します。

また、酪農ヘルパー利用組合が雇用等により確保している要員の確保・育成に必要な費用の一部補助、酪農従事者が病気、けが等により就業困難となってヘルパー利用が増加した場合の負担額の軽減のための互助基金の造成とその活用、ヘルパーの活動によって発生した財物の破損等を賠償する保険への加入促進と保険料の一部を補助します。

さらに、経営者の高齢化等により継続が困難となる経営の第三者継承への支援、大規模化により雇用を必要としている畜産経営に対して、人材確保のための職業紹介や募集に必要な支援及び人員育成のための支援を行います。

〔実施予定事業数：9事業〕

（3）家畜及び畜産物の安全性確保と理解醸成を図る事業**ア 畜産及び畜産物への理解醸成**

消費者等に対し、畜産及び畜産物の安全性確保と理解醸成を図ることを目的に、畜産及び畜産物へ消費者を対象にした畜産及び畜産物に関する研修会や体験交流会の開催、イベントにおける畜産物の栄養知識に関する啓発資料の作成・配布及び畜産物の無償配布、畜産堆肥の有機質肥料としての有用性に関する啓発資料の作成・配布などを通じて消費者の畜産への理解醸成及びリスクコミュニケーション確保のための活動を行います。

また、畜産の振興を担う地方競馬場において冠レースを開催し、畜産への理解醸成を図ります。

〔実施予定事業数：5事業〕

イ 家畜及び畜産物の安全性確保

伝達性牛海綿状脳症（BSE）に罹患した牛を確実に食肉流通から隔離することを目的に、死亡した牛の収集、輸送、検査、処理に必要な費用への補助、食肉処理場等における特定危険部位の除去確認に要する費用に対し促進費を助成します。

また、食肉処理事業者に対し、特定危険部位の適正管理の促進を図ります。

〔実施予定事業数：2事業〕

ウ 家畜の悪性疾病による損失対策

悪性の家畜伝染病など、指定する疾病が発生した場合に、飼養する乳牛、肉牛、豚の淘汰した後、経営の再建を図ることを目的に、畜産経営者に対して事業内容の周知、事業への参加の呼びかけ、事業への参加手続等を支援します。

また、家畜疾病が発生した際、家畜の殺処分等を行った畜産経営体に対し、経営再開に必要な経費等を支援する互助金交付に必要な委員会を設置し、互助金交付単価の設定及び、再生産に向けた導入計画の認定等を行います。

〔実施予定事業数：3事業〕

エ 農場の生産衛生の強化

清浄化が難しく伝播力が強い個体経営の取り組みだけでは十分な効果が得られにくい牛豚の伝染性疾病等の発生・流行を防止して畜産物生産の安定を図ることを目的に、検査、予防接種、生産衛生の強化に必要な費用の一部、及び県内種鶏場等の衛生管理向上のために検査経費の一部を補助します。

また、豚熱（CSF）対策として野生イノシシへの経口ワクチン野外散布のための協議会運営事業を実施するほか、令和元年度に実施されたASF侵入防止緊急支援事業について、整備施設の利用・管理状況等についてのフォローアップを行います。

〔実施予定事業数：4事業〕

オ 家畜の衛生管理の強化

疾病の清浄化及び予防による畜産物の生産の安定を図ることを目的として、自衛防団体等が実施するワクチン接種の推進、豚熱（CSF）等の家畜伝染病発生時の対応等を円滑に行うための演習・研修の実施、農場HACCP認証、畜産GAPを普及するための構築支援体制の整備、調査・指導、野生獣の家畜に影響を及ぼす疾病の保有状況等についての調査、豚疾病防止のための獣医師による巡回指導、馬の飼養者等への衛生管理に関する調査・講習会、ハチミツの安全性確保のための検査等について支援します。

〔実施予定事業数：9事業〕

（4）家畜の能力向上を促進する事業

家畜の生産能力は、個体が持って生まれた性質（遺伝）と飼養される環境条件によって影響を受けることから、家畜が快適に生活できる場を整えるとともに、飼養している家畜の生産能力を遺伝的に引き上げる必要があります。

そのため、当協会は家畜の遺伝的な能力と大きな関連がある体型等を中心とした評価に技術と経験を持った職員を配置し、県域を対象とした家畜共進会の開催及び地域における家畜共進会への開催支援、能力向上に必要な家畜の体型や産肉能力データの収集等を実施します。

また、令和4年10月に鹿児島県で開催される「第12回全国和牛能力共進会」への出品を円滑に進めるための出品対策を実施します。

〔実施予定事業数：22事業〕

【収益事業1】畜産に関する収益事業

（1）家畜登録団体からの業務受託に関する事業

家畜の血統登録を行う団体から業務の一部を受託し、畜種ごとに定められた登録規程等に基づき、登録申し込みのあった家畜の個体の確認、体型・特徴の記録、DNA検査のための試料の採取、血統の確認、登録手続、登録料の代行収受、登録証の送付等の業務を行います。

〔実施予定事業数：6事業〕

【その他の事業1】畜産の振興を図る事業

（1）畜産団体からの事務受託等に関する事業

畜産生産者等を構成員とする団体からの委託を受け事務を行います。

〔実施予定事業数：8事業〕

（2）その他事業

「廃棄物の処理と清掃に関する法律」に基づく家畜の死体処理に必要な産業廃棄物管理票（マニフェスト）の販売、畜産に関する情報提供、畜産に関する印刷物の販売等、本会が実施する事業に付随する畜産の振興を図るための事業を行います。

【令和4年度収支予算の概要】

令和4年度は、補助事業：21事業、助成事業：5事業、特別事業：8事業、受託事業：15事業、家畜登録事業：6事業、生産者事務受託団体からの事務委託を含めた事務受託事業：9事業、自主財源による事業：26事業の計90事業を実施します。

公益目的事業会計、収益等事業会計（畜産収益事業会計、畜産振興事業会計）、法人会計の各会計の総額は、経常収益522,436千円、経常費用524,036千円、税引前当期一般正味財産増減額は1,599千円の減を見込んでいます。

令和3年度補正予算と比較して、経常収益では、登録事業収益が2,212千円の増加、受取補助金等が11,111千円の増加、受取負担金が6,511千円の増加、一方、受取助成金が14,335千円の減少、受取受託金が5,172千円の減少となっています。また、経常費用では、事業費が9,032千円の増加、管理費が1,069千円の増加となっています。

【各会計の状況】

（1）公益目的事業会計

令和4年度予算の主な動きとして、新型コロナウイルス感染症により、収益の悪化した肉牛経営体への畜産対策事業（2事業）及び豚疾病低減対策強化事業が廃止となります。一方、新規事業では、全国和牛能力共進会（鹿児島会場）への出品対策事業や優良繁殖雌牛地域内保留推進事業のほか、家畜生産農場生産対策事業の事業量増加を見込んでいます。

令和4年度においては、経常収益 421,357 千円、経常費用 442,057 千円で、他会計振替前当期一般正味財産増減額は 20,700 千円の減を見込んでいます。

当事業会計へは、収支相償に基づき、畜産収益事業等会計から収益金の約 1 / 2 である 10,454 千円を振替えることで、最終的な公益目的事業会計の税引前当期一般正味財産増減額は 10,246 千円のマイナスとなる見込みです。

収支予算書(損益)

公益社団法人 群馬県畜産協会

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで
(令和4年度)

(単位:円)

(2) 収益事業等会計

令和4年度においては、経常収益 93,383 千円、経常費用 74,467 千円で、他会計振替前当期一般正味財産増減額は 18,915 千円の増を見込みます。

なお、本事業会計は、畜産収益事業会計から、公益目的事業会計に 10,454 千円、また、減となっている畜産振興事業に 2,000 千円を振替える結果、収益事業等会計の税引前当期一般正味財産増減額は 8,461 千円の増となる見込みです。

(3) 法人会計

令和4年度においては、経常収益 7,696 千円、経常費用 7,511 千円で、他会計振替前当期一般正味財産増減額は 184 千円の増を見込みます。

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	[1,867,380]	[1,132,619]	[734,761]
受取金費	[15,265,000]	[15,255,000]	[10,000]
事業収益	[113,947,480]	[111,010,110]	[2,937,370]
受取補助金等	[252,482,537]	[241,371,159]	[11,111,378]
受取助成金	[20,463,180]	[34,799,010]	[△ 14,335,830]
受取受託金	[22,716,475]	[27,889,329]	[△ 5,172,854]
賦課金収益	[5,827,300]	[5,852,900]	[△ 25,600]
受取積立金	[3,500,000]	[3,320,000]	[180,000]
受取生産者負担金	[48,750,000]	[48,750,000]	[0]
受取負担金	[34,688,400]	[28,177,050]	[6,511,350]
受取寄付金	[489,000]	[108,000]	[381,000]
雑収益	[2,440,200]	[2,704,720]	[△ 264,520]
経常収益計	522,436,952	520,369,897	2,067,055
(2) 経常費用			
事業費	[516,525,175]	[507,493,061]	[9,032,114]
管理費	[7,511,674]	[6,442,563]	[1,069,111]
経常費用計	524,036,849	513,935,624	10,101,225
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
受取生産者負担金	[333,259,160]	[0]	[333,259,160]
受取返還金	[0]	[11,038,036]	[△ 11,038,036]
経常外収益計	333,259,160	11,038,036	322,221,124
(2) 経常外費用			
支払返還金	[333,259,160]	[0]	[333,259,160]
支払返還金	[0]	[11,038,036]	[△ 11,038,036]
経常外費用計	333,259,160	11,038,036	322,221,124
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 1,599,897	6,434,273	△ 8,034,170
法人税、住民税及び事業税	3,000,000	3,000,000	0
当期一般正味財産増減額	△ 4,599,897	3,434,273	△ 8,034,170
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等	[15,760,000]	[15,638,800]	[121,200]
受取積立金	[7,880,000]	[7,819,400]	[60,600]
受取生産者負担金	[232,500,000]	[176,400,000]	[56,100,000]
受取負担金	[1,670,000]	[530,000]	[1,140,000]
特定資産運用益	[1,587,022]	[895,814]	[691,208]
一般正味財産への振替額	[△ 393,229,197]	[△ 55,695,344]	[△ 337,533,853]
III 正味財産期末残高	1,604,163,936	1,742,596,008	△ 138,432,072

第12回全国和牛能力共進会第5回群馬県出品対策協議会を開催しました

令和4年2月14日にJAビル8階役員会議室及びWEBにて第12回全国和牛能力共進会 第5回群馬県出品対策協議会を開催いたしました。

今回の協議会は、今年の10月に開催される、第12回全国和牛能力共進会鹿児島県大会に向けての本県の出品対策の経過、出品予定頭数、現在の候補牛について報告いたしました。出品頭数は過去最多の11頭(種牛8頭、肉牛2頭、特別区1頭)を予定しており、出品に向けて県、関係機関、生産者団体および生産者が一体となって和牛の改良に取り組んでいます。現在、出品候補牛を巡回調査や集畜研修会により調査していますが、どの牛も素晴らしい体型や能力を有しており、種牛の部および肉牛の部とも上位入賞の手応えが感じられます。本協議会には唐沢会長や県農政部の倉澤副部長ら18名が参加しました。会議の内容は群馬テレビや農業新聞でも報道され、鹿児島大会に向けたより一層の盛り上がりが期待されます。



唐沢会長による挨拶



会議風景(ハイブリッド方式)

第12回全国和牛能力共進会に係る出品候補牛集畜研修会を開催

令和4年3月9日に全農群馬県本部渋川家畜市場にて第12回全国和牛能力共進会に係る出品候補牛集畜研修会を開催しました。群馬県内から第12回全国和牛能力共進会の出品候補牛が28頭集まり、参加者も51名と大勢の人に参加していただきました。午前中は県内の技術取得者である、山本こずえさん（渋川市）八木原茂さん（前橋市）小黒陽子さん（沼田市）武井洋太さん（沼田市）近藤拓馬さん（榛東村）に毛刈りや調教などの講演をしていただきました。

講習会では次のような取り組みの紹介がありました。

- ・毛刈りをする前に牛全体を見てイメージをしてからカミソリで毛刈りをして、腿など厚みを残したい良い箇所は整える。
- ・後脚の間に棒などを置き立ち方の矯正をする
- ・前足を一段高い場所に置き、後脚にキチンと体重をかけ四肢でしっかり立たせる練習をする
- ・シャンプーとリンスを使って毎日牛を洗う
- ・角を天角やいの字型になるようにテープで矯正して角の形を整える

午後は集まった候補牛の測定を行い、参加者の方々も測定しているのを熱心に見学していました。今回研修会に参加した候補牛は発育性や種牛性が大変高い牛が多く、鹿児島大会出品に向けた候補牛の選抜に期待が高まります。今回実開催した出品候補牛を集畜した研修会は全共対策としては初めての試みでしたが、参加した方々からは評判も良く、生産者間で情報共有や意見交換を活発にしている姿が見られました。この研修会をきっかけに全共出品に向けた意識の向上につながることを期待して、今後も続けていきたいと思ひます。

①技術者 山本こずえさん



②技術者 八木原茂さん



③技術者 小黒陽子さん



④技術者 武井洋太さん



⑤技術者 近藤拓馬さん



⑥候補牛の測定



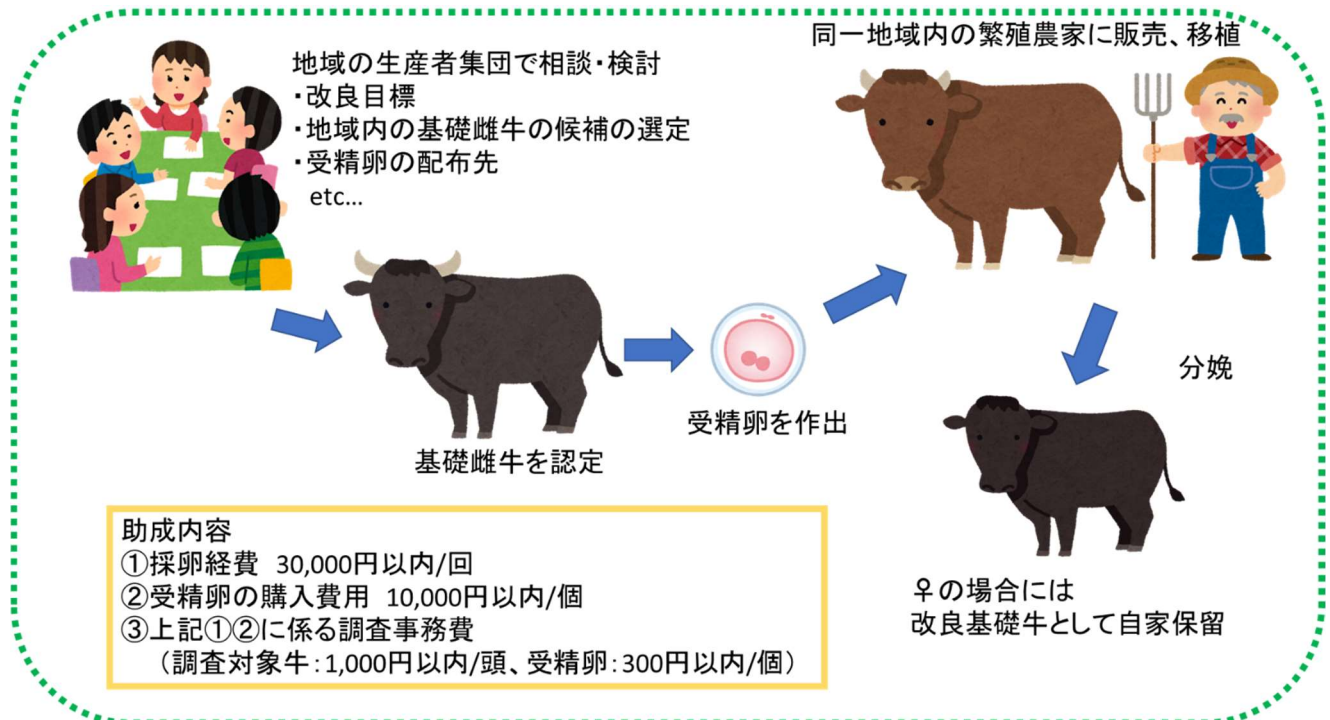
優良繁殖雌牛地域内保留推進事業（令和4年度新規事業）について

本会では令和4年度より新たに優良繁殖雌牛地域内保留推進事業を実施しますので事業の内容等についてご紹介いたします。

本事業は、地域の特色ある肉用牛生産を推進するため、地域内において優良繁殖雌牛を選抜し、保留して利用することにより繁殖基盤の強化および育種改良の促進を図る取組です。

具体的な内容としては、各地域で組織される生産者集団等の構成員の所有する繁殖雌牛のうち、繁殖性および産肉性に富む基礎雌牛となる優良繁殖雌牛をその地域の供卵牛として選定し、得られた受精卵を地域内の和牛繁殖農家に対し販売した場合の経費について本会で助成するというものです。

本県における和牛改良組合等の生産者集団では、各地域の特色を取り入れた改良目標を掲げて取り組んでいる地域もあり、本事業を活用して地域一体となって取り組むことで、生産者同士の意識の共有や改良基盤の底上げにつながることを期待しております。



肉用牛合同研修会の実施について

本会では、県内の肉用牛飼養農家及び肉用牛関係者を対象に、和牛飼養管理技術の向上並びに、繁殖技術の研究と知識の向上を図る目的で年に1回研修会を開催しています。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため研修内容を動画で配信する形で実施しますのでご紹介します。

今回の研修では、一般社団法人家畜改良事業団より群馬県内でのゲノミック評価の利用状況の説明および生時体重のゲノミック評価についてご紹介いただいています。

なかでも、生時体重のゲノミック育種価の公表は国内初の新たな取り組みであり、分娩時の事故軽減への活用や、生時体重と枝肉重量の遺伝相関が高いことを利用した改良など今後の活用に変大期待できる評価値です。

動画内では、より詳しい活用方法や効果について説明いただいておりますので、ぜひご視聴ください。

1. 研修内容 講師 （一社）家畜改良事業団前橋種雄牛センター
演題 「群馬県の肉用牛ゲノミック評価」

2. 配信期間 令和4年3月22日～4月30日

3. 配信方法 youtube（公社）群馬県畜産協会チャンネルにて配信
URL:<https://youtu.be/mJcgrjI8q2E>

農場 HACCP 研修会の開催について

令和4年3月2日(水)県農協ビルにて農場 HACCP 普及推進を図ることを目的として、農場 HACCP 研修会を現地とWEBの同時開催で実施しました。

新型コロナウイルス感染症感染対策を徹底した上で、県、農協、農場等の方々、約50名（WEB参加含む）にご参加いただきました。

農場 HACCP の場で指導員、審査員としてご活躍されている千葉県の計良家畜診療所計良伸行様と県畜産課防疫第一係副主幹松本悠一様を講師にお迎えし、ご講演をいただきました。

計良様からは、農場 HACCP の概要からご自身の経験をふまえた構築方法や指導のポイント等、今後農場 HACCP に関わっていく上で大変参考となる内容をご講演いただきました。

松本様からは、飼養衛生管理基準について、ご講演をいただきました。牛、豚、鶏の飼養衛生管理基準を畜種ごとの違いも含めて解説をいただき、伝染病を予防するため、基準を順守していかなければならないと改めて感じました。

飼養衛生管理の向上において、飼養衛生管理基準の遵守・農場 HACCP の考え方は重要となっております。今後も研修会を開催し、農場 HACCP 普及推進に努めたいと思います。

講演の様子



講師 計良伸行 様



講師 松本悠一 様



勢多農林高等学校養鶏部が農場 HACCP 認証取得しました

本会の農場 HACCP 認証支援農場が農場 HACCP 認証を取得しました！

本会で実施している家畜防疫・衛生指導対策事業における農場 HACCP 構築支援事業で、農場 HACCP 認証構築支援を実施し、群馬県立勢多農林高等学校養鶏部が農場 HACCP 認証を取得しました。全国の高校鶏舎では初となります。構築指導者として栗原アニマルヘルス栗原信明様を招き、今年度4月から月1回程度推進会議を開催しました。1年にも満たない短い期間でしたが、農場側の努力もあり、認証取得に至りました。

本会では、農場 HACCP 認証取得を支援する事業を実施しております。ご興味のある方がいらっしゃいましたら、本会までお問い合わせください。



経営セミナー（第三者経営継承）の開催について

令和4年2月16日、群馬県農協ビルにおいて本会主催の研修会を下記の演題にて開催いたしました。

演題：「第三者経営継承のポイント」 ～ポイントがわかれば取り組める第三者経営継承～

講師：群馬県畜産協会 事務局長 加藤康義 氏

演題：「酪農における第三者経営継承について」

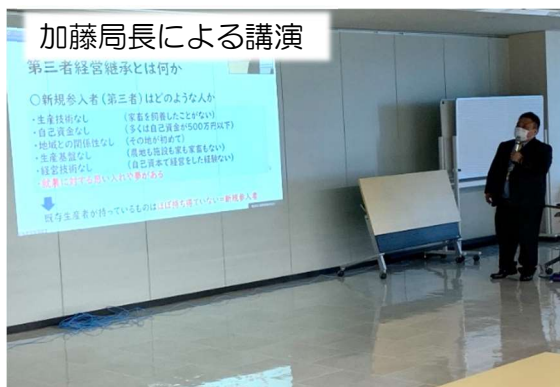
講師：利根沼田農業協同組合 調査役 石田卓 氏

本研修会は本会の自主事業において、畜産経営者及び関係団体を対象として、経営技術や新情報に関する情報提供を行うことを目的としたものであり、今年度は「第三者経営継承」をテーマとしました。ハイブリッド方式での開催となり計37名（うちweb10名）の関係者及び畜産経営者の方にご出席いただくことができました。

加藤事務局長は、本県において関係機関とチームアップして第三者経営継承を成功させた数少ない事例の立役者の一人です。その成功事例に関する講演を他県においても複数回対応しております。満を持して本県においても講演いただいたということになります。石田氏からは、継承成功事例の就農までの支援内容や就農後の状況について、継承者と移譲者の一番近くで支援した立場でご講演いただきました。

第三者経営継承を希望する多くの継承者（受け手）は、就農への思い入れはあるものの、生産・経営技術・自己資金も少なく、就農予定の地域と関係性がない方が多いです。そのような方への支援は、後継者（親族等）就農に対する支援以上の支援が必要となりますし、「支援をする」＝「継承者の人生を預かる」という意味合いから、継承後の失敗を避けるために高いハードルを設定するべきです。失敗しないためのコツとして①譲渡価格は先に決める②支援体制を準備する（サポートチーム編成）③就農研修の事故に備える、といったことが重要であると出席者の方にも伝わったように思われます。

なお、本研修は日本農業新聞および群馬テレビでも取り上げていただきました。



牧場体験交流事業 県産畜産物が当たるキャンペーン実施しました

牧場体験交流事業の一環として、県内の畜産の理解醸成を図るため、乳牛や県内の畜産に関するオリジナル動画を見てクイズに答え、全問正解した方の中から抽選で20名に県産の乳製品が当たるキャンペーンを実施しました。

抽選の上、当選者へは（公財）神津牧場様の神津ジャージー牛乳と神津飲むヨーグルトのセットを発送いたしました。

今回初の試みでしたが、本キャンペーンが少しでも県内の畜産への理解と牛乳の消費拡大のきっかけになれば幸いです。

たくさんのご応募をいただきました。参加してくださった皆様、誠にありがとうございました。

畜産の理解を深めて
群馬県内の畜産物を当てよう！

合計 **20** 名様に
県産乳製品が抽選で当たる！

**群馬の乳製品
プレゼントキャンペーン**

【公益財団法人神津牧場】
神津ジャージー牛乳2本と
神津の飲むヨーグルト2本の
セットが当たるぞ～

応募期間：令和4年2月28日（月）まで
参加方法：右記の二次元コードからアクセス
または URL よりアクセス
(<https://www.chikusankyokai.or.jp/human-resources/event/220209-present/>)

応募要項：【応募方法】
動画視聴後、応募フォームのクイズの解答と必要事項を入力してご応募ください。
※クイズのヒントは動画の中にあります。
【応募対象】
群馬県在住の方に限らせていただきます。
【抽選および当選発表】
応募期間終了後、クイズに全問正解された方の中から抽選の上、当選者を決定いたします。当選の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。

公益財団法人群馬県畜産協会
〒379-2147 群馬県前橋市電里町1310 TEL 027-220-2371

本県生産者等団体のご紹介（群馬県乳牛改良協会）

群馬県乳牛改良協会は県内地域の13同志会、会員101名からなる生産者団体で、今年で設立52年になります。

県内酪農家の減少に伴い同志会数、会員数は減少傾向にありますが、ブラックアンドホワイトショウや研修会などのイベント開催、県外ショウへの参加など精力的に活動をしています。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の流行のため現在は活動の自粛を余儀なくされており、酪農家間の交流や後進育成などにも影響が出ていますので、新たな形での開催等も検討していきたいと考えています。

酪農家どうしの横のつながりを大切にして、本会の目的である「良い牛をつくる」ことをより探究していきたいと思います。



群馬県ブラックアンドホワイトショウの後の記念撮影

本会職員のご紹介

齋藤 克哉と申します。令和2年9月に入会しました。

現在は、畜産経営の安定（価格安定）を支援する事業として、肉用子牛生産者補給金制度。和牛増頭事業として、肉用牛経営安定対策補完事業・生産基盤拡大加速化事業。

畜産近代化リース協会が貸付けた機械・車両等について保守管理及び適正な使用に関する指導を実施する、貸付事業指導等事業。団体事務として、群馬県養蜂協会の事務局を担当するなど、生産体制の支援にかかわる業務を担当しています。今後とも畜産経営の安定向上のため幅広い支援を行っていきけるよう尽力したいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。



中村美帆と申します。平成27年に入会して、気がつけば7年が経っていました。入会当初は、衛生関係の事業を担当し、これまで聞いたことのない用語を前に右往左往していたのが昨日のことのようです。昨年、育児休業取得後に復職して、現在は山羊や豚に関する事業を担当しています。

今年度は、CSFや新型コロナウイルス感染症といった疾病を前に、畜産には本当にたくさんのことが絡み合っていて影響していて、一筋縄ではいかないことを痛感する日々でした。そのような中で、関係者の皆様にご指導いただき、畜産が持続可能な形で発展するために、畜産協会の立場で出来ることは何かを考えながら仕事をしたいと考えています。よろしくお願いいたします。



価格安定制度の発動状況

■肉用子牛生産者補給金制度 補給金交付状況

区分				平均売買価格(円)					交付単価(円)				交付額(円)				
業対	年次	月次	期別	黒毛	褐毛	他肉	乳用	交雑	黒毛	褐毛	他肉	乳用	黒毛	褐毛	他肉	乳用	交雑
7	3	1 ~ 3	第4四半期	774,500	721,900	297,300	249,800	380,500	0	0	22,700	0	0	0	68,100	0	0
		4 ~ 6	第1四半期	756,000	666,300	-	246,300	339,000	0	0	-	0	0	0	-	0	0
		7 ~ 9	第2四半期	720,400	600,500	-	245,300	326,900	0	0	-	0	0	0	-	0	0
		10 ~ 12	第3四半期	738,100	659,800	-	237,600	315,400	0	0	-	0	0	0	-	0	0
		計			※他肉（その他肉専用種）はR2年度より算定期間が1年（4月～3月）となりました。										68,100		

◆肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン） 交付金交付状況 （令和3年12月期）

期間	品種区分	納付区分	支払区分	交付対象		交付金単価 (頭/円)	交付金の額			交付日
				人数	頭数		(円)	交付金として	積立金から	
				(人)	(頭)		(4/4)	支払う額(3/4)	支払われる額(1/4)	
12月期	乳用種	通常	概算払		86		0			R4.2.24
			精算払			40,420.8	3,476,186	2,607,137	869,049	
			計				3,476,186	2,607,137	869,049	
		猶予	概算払		4		0			
			精算払			40,420.8	161,681	121,260	40,421	
			計				161,681	121,260	40,421	
		計	概算払	9	90		0	0	0	
			精算払				3,637,867	2,728,397	909,470	
			計				3,637,867	2,728,397	909,470	

◆肉豚経営安定交付金制度（豚マルキン） 交付金単価について（令和3年4～12月分）

算出期間	令和3年4月から12月まで
肉豚1頭当たりの標準的販売価格	38,176 円/頭
肉豚1頭当たりの標準的生産費	34,365 円/頭
肉豚1頭当たりの交付金単価	—

市況

◆渋川家畜市場成績【全農群馬県本部】（令和4年3月）

開催月	性別	取引頭数	高値(円)	安値(円)	平均価格(円)	平均体重(kg)	平均日齢(日)	Kg単価(円)
3	雌	124	894,300	58,300	665,331	310	455	2,146
	去勢	164	1,012,000	330,000	777,948	329	290	2,359
	合計	288	—	—	729,460	321	361	2,271

◆乳用牛市場成績（令和4年2月）

開催月	畜種区分	授精区分	腹子品種	頭数（頭）	平均体重(kg)	平均価格(円)
2	未経産			23	309	278,043
	初妊	AI	ホルス	12	537	513,167
			交雑種	23	603	538,565
		ET	和牛	2	540	726,500
	経産			14	622	379,857
		AI	ホルス	4	588	287,250
			交雑種	22	656	332,545
		ET	和牛	1	609	471,000
		IVF	IVF	2	634	326,500
	合計			103	542	400,971

◆前橋家畜市場取引結果【群馬県家畜商商業協同組合】（令和4年2月）

品種	区分	性別	売買頭数	最高値(円)	最低値(円)	平均(円)	平均体重(kg)
和牛	子牛	メス	121	658,900	7,700	431,527	147
		オス	197	831,600	100,100	555,193	158
	スモール	メス	1	225,500	225,500	225,500	34
		オス	2	310,200	279,400	294,800	45
交雑種	子牛	メス	37	388,300	55,000	229,603	232
		オス	15	330,000	82,500	203,060	140
	スモール	メス	579	368,500	26,070	168,396	88
		オス	648	324,500	28,600	208,301	95
乳牛	子牛	メス	4	157,300	50,600	122,925	123
		オス	2	71,500	45,100	58,300	116
	スモール	メス	10	117,700	9,350	52,877	59
		オス	254	151,800	1,100	82,230	77

令和元年度畜産海外事情研修（EU3か国）に参加して ⑨

みなさん こんにちは！最近、気持ちの重い日々が続いています。政界情勢しかり、個人的にも然り。体調が良くありません。さて、9回目をお送りいたします。

令和元年10月1日（火）オランダ編（1日目）

1週間過ごしたドイツともお別れし、前日の9月30日の夜、この研修の最終地となるオランダに入りました。この日の宿泊先は、ヘルダーランド州のストフェンです。

ストフェンは、アムステルダムの方、100キロほどのところに位置する人口4万7千人の小さな街です。古いヨーロッパの街並みがきれいな街で、薄暗い街灯、石畳、レンガ造りのお店など、夜の街の光景はとても風情がありました。

オランダ1日目は、牛の精液等を販売するCRV社でオランダにおける改良、育種の現状について研修を行いました。日本で一番類似する機関としては家畜改良事業団でしょうか。

このCRV社ですが、創業は1874年で、当時、オランダからアメリカに乳牛を輸出する際の家畜の血統証明を行う目的で設立され、現在は、世界11か国にオフィスを展開し、世界60か国に5万人の顧客を持つ機関です。

事業の中心は精液販売、各育種データの処理、牛の血統登録などで、2016年の売上高は228億円に及びます。

育種については、生涯生産効率の向上を目標に、ヨーロッパのほか、北米、南米、オセアニアで乳用種、肉用種、乳肉兼用種を対象に行っていました。特に、乳用種（ホルスタイン種）については、北米、南米、オセアニアで改良目標が異なり、地域性を重視して改良に取り組み、現在は、水資源の少ない国に適した改良を進め、飲水の効率をどう測定するか研究を行っているとのことでした。

CRV社の育種プログラムは、160頭のドナー育成牛と15頭のドナー経産牛から、11,500個の卵子を採卵し、体外受精で受精卵を作出して授精させ、10～15%の牛を再びドナー牛とするサイクルを繰り返すDELTA NUCLEUSと、世界中のブリーダーから900個の受精卵を購入するEURODONORとを展開します。

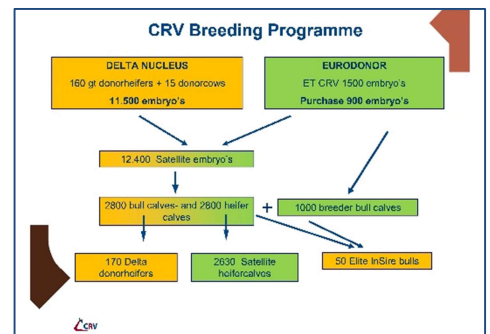
12,400個の受精卵を集め、サテライトとなる農家へ受精卵を販売し、2,800頭のオスとメスが生産され、メスについては最終的に170頭を選抜して、DELTA NUCLEUSのドナー牛として育成し、オスは1,000頭を別途購入し、3,800頭の中から50頭を雌雄牛として選抜するといったプログラムを行っていました。



CRV社にて



研修の様子（CRV社内にて）



CRV社の育種プログラム

続いて、我々は、CRV社のアテンドにて、ストフェンからさらにオランダを北上し、エイセル湖に近いエラハイゼンにあるファンベルケン牧場に研修の場を移しました。

1966年に創業し、2代目のシーネンさんは1978年に乳牛110頭で後継者として就農されました。1984年から続いたEUで行われた生乳クォーター制度（追加課徴金制度）により、出荷量を2割減らすなど厳しい時代を過ごしてきましたが、生乳クォーター制度が廃止された2015年には、1日3回搾乳へ展開し積極的に生産量を拡大してきました。

しかし、すぐに2017年に、環境保護の観点からリン酸塩の排出を規制する「リン酸塩排出削減計画」が実施されたため、規模拡大に必要なリン酸塩排出権を8,400万円あまりを購入し、飼養規模は430頭（搾乳牛300頭、育成牛130頭）にまで拡大し現在に至っているそうです。CRV社のコンサルティングを受けて経産牛の改良を進め、個体生産乳量は約14,000キロで、オランダ国内では高い生乳生産量を維持していました。

オランダでは、平均乳価が当時約42円、生産費は約37円でした。日本の状況をお話すると、「日本に行って酪農をしたい」とお話していたのが印象的でした。



おもてなし（左がシーネンさん）



牛舎内にて



スラリータンク



みんなで行こう！ケイバ！南関東4競馬場開催日程

地方競馬の収益金は畜産の振興に役立っています

詳しくは南関東4競馬場サイト：<http://www.nankankeiba.com/index.html> をご覧ください

◆BAOO高崎

群馬県高崎市岩押町 12-16
お問合せ：027-322-5192



ロイヤル席
個別モニター付き特別
観覧席で快適な一日を
お過ごしいただけます

◆オフト伊勢崎

群馬県伊勢崎市宮子町 3074
伊勢崎オートレース場
グリーンスタンド4階
お問合せ：0270-23-0535



平日、大井、川崎、
船橋、浦和の馬券が
購入できます



【開催日程】

🌙 ナイター 🌅 薄暮開催

2022年 4月																															
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土		
																															
大井			川崎	川崎	川崎	川崎	川崎			船橋	船橋	船橋	船橋	船橋			大井	大井	大井	大井	大井			浦和	浦和	浦和	浦和	浦和			
					S III							Jpn III							Jpn III	S III						S III					

2022年 5月																															
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	
																															
	船橋	船橋	船橋	船橋	船橋			大井	大井	大井	大井	大井			川崎	川崎	川崎	川崎	川崎			大井	大井	大井	大井	大井			浦和	浦和	
		S III	S II	Jpn I						S I	S I					S III								S I							

2022年 6月																															
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木		
																															
浦和	浦和	浦和			大井	大井	大井	大井	大井			川崎	川崎	川崎	川崎	川崎			船橋	船橋	船橋	船橋	船橋			浦和	大井	大井	浦和		
Jpn II							S I					S III	Jpn II													S II	Jpn I				
																										大井			大井		

編集後記

今号も「群馬の畜産・みんなの情報室」をお読みいただきありがとうございます。

あと1週間くらいで、令和4年度になってしまいます。過ぎてみたらあっという間ですね。毎年言っているような気がしますけど(笑)

さて、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、多くのイベントを中止せざるを得ない状況が頻発しました。令和3年度も同様の影響はありましたが、ハイブリッド方式(対面+リモート)による研修会の開催やHP上での販売希望山羊の情報提供や県畜産物が当たるキャンペーン開催とこれまでの実施方法に拘らずに事業実施に取り組むことで対応できました。令和4年度も新型コロナウイルス感染症の拡大状況に応じて、柔軟性のある対応を心がけていきたいと思ひます。今後ともよろしくお願い申し上げます。